

流域治水の取り組み 流域治水オフィシャルサポーター（その7）

1. 「あまみず交流会」

公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会では、定期的に「あまみず交流会」を開催し、個々の企業では得られなかった新たなニーズや人脈、情報を発掘し、雨水ビジネスの発展などの情報・意見交換の場として利用している。

本レポートでは、弊社技術者（河川計画事業部 能瀬康人）が令和6年8月に話題提供・発表した内容「流域治水の推進に向けて～校庭貯留施設の現状を踏まえて～」の事例を報告する。同交流会は今後も継続的に開催され、現在は対面・Zoom 併用で行われている（参加無料）。また、話題提供希望者も募集している。

※雨水貯留浸透技術協会：<https://arsit.or.jp/>

- ・流域治水と校庭貯留
- ・N県での調査事例
- ・C県での調査事例
- ・調査結果の総括
- ・校庭貯留施設の基準改定 など

2024年8月吉日

「あまみず交流会」開催のお知らせ

公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会
ARSIT Association for Rainwater Storage and Infiltration Technology

拝啓 日頃は、当協会の活動にご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、当協会企画委員会の発案で、会員の多様性を強みとし、個々の企業では得られなかった新たなニーズや人脈、情報を発掘し、雨水ビジネスの発展、新規顧客開拓、会員間での協働ビジネスにつなげていくための、気軽な情報・意見交換（サロンの場）として「あまみず交流会」を定期開催する運びとなりました。
今回は、対面開催として（Web 参加も歓迎）、三井共同建設コンサルタントの能瀬様に話題提供を頂き、軽食をつまみながら、情報・意見交換を行います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。
併せて、「あまみず交流会」で、自社の製品・技術をPRしたい！共同研究の相手を探したい！こんなことで困っているなど、話題提供を頂ける方も随時募集しております。奮ってご応募ください。

敬具

「あまみず交流会」 “二十一”

開催日： 2024年 8月21日（水） 16:00～
会 場： 雨水協会 会議室 【オンライン（Zoom）での参加も可】
※ 協会にお越し頂き、WiFiやりましょう！

話題提供： 「流域治水の推進に向けて
～校庭貯留施設の現状を踏まえて～」
三井共同建設コンサルタント（株）
能瀬 康人さん

参加費： 無 料
参加申込： 以下、URL よりお申し込みください。
<https://forms.gle/DnG34tANNANQW5Xv1>
(次回以降の話題提供希望も以下よりお申し込みください)



以上

図1 「あまみず交流会」の開催案内

2. 流域治水の推進に向けて～校庭貯留施設の現状を踏まえて～

話題提供では、流域治水の主要施策の一つである校庭貯留施設に焦点を当てた発表と意見交換を行った。

□発表項目

- ・話題提供のねらい

流域治水の推進に向けて ～校庭貯留施設の現状を踏まえて～

三井共同建設コンサルタント(株) 河川計画事業部 河川第二部
能瀬 康人
Mitsui Consultants Co., Ltd. 三井共同建設コンサルタント株式会社

話題提供のねらい

- ・“流域治水”というワードが、近年多く使われている。
- ・流域治水の主要施策の一つである校庭貯留施設に焦点を当てる。
- ・校庭貯留施設は、これまでに総合治水対策の一つとして、全国で整備が行われているが、振り返りはされているのか？
- ・我々も整備～現在に至るまでは、把握できていないのが現状。（役所の土木サイドも果たして……）
- ・校庭貯留施設は、学校サイドの協力無しでは、整備もできないし、施設の維持・管理も困難。
- ・施設の現状や学校サイドの感想や要望を知り、“整備して良かった！”と学校サイドに言われるような校庭貯留施設じゃないと、施設の普及、流域治水対策は進まないのでは？という危機感！
- ・我々がこれまでに関わった、奈良県と千葉県での調査事例を紹介。
- ・多種多様な分野の会員からなる公益社団法人雨水貯留浸透技術協会で、施設の普及に向けた意見交換ができないか？

Copyright © 2023 MITSUI CONSULTANTS CO., LTD. All Rights Reserved. 1

流域治水と校庭貯留

○洪水時、一時的に流域内で雨水を貯留できるよう、既存ストックを活用した流出抑制対策を実施。
○例えば、水田貯留（田んぼダム）は、大雨時に一時的に水をためる取組であり、自ら地域を水管から守る自主防災の取組。
新着では、効果を発揮されるため、約15,000haの大規模な取組で実施。

調整池



【事例】調子谷調整池（新潟県）

校庭貯留



【事例】茨城県小学校（川崎市）
土手を整備し、貯留容量を確保

ため池



【事例】春日池（佐賀県）
洪水時の地味な取組

水田



【事例】新着：水田貯留（千葉県）

浸透ます・浸透管



【事例】浸透ます（千葉県）

Copyright © 2023 MITSUI CONSULTANTS CO., LTD. All Rights Reserved. 3

図2 「あまみず交流会」での資料（一部抜粋）

4. 問い合わせ先

本レポートの内容やその他技術的な相談は当社 HP からお問い合わせ下さい。過去の情報も閲覧できます。

<https://www.mccnet.co.jp/>